「南高スタイル」 「自由」「規律」「友情」

令和5年4月12日
弘前南高校
1年次通信 No.1

1 新しいスタート

生徒の皆さん、ご入学おめでとうございます。弘前南高校第61回生200名の3年間がいよいよスタートしました。今年は創立 60 周年を迎え、記念式典や記念行事が行われる記念すべき年であり、皆さんは 61 回目の入学生として本校に入学しました。

弘前南高校の校訓は、「自由」「規律」「友情」の 3 本柱です。特に一番はじめに「自由」を掲げているところが本校の素晴らしいところで、県内や他県でもほとんど聞いたことがなく、私も卒業生として、このことをずっと誇りに感じています。皆さんに配られている生徒要覧（生徒手帳）の冒頭には校訓について、「自由」「規律」「友情」とは何かについて説いており、最後の「・・以上三つの目標のもとに・・校風ができあがっていく。諸君が校風をつくり、校風が諸君をつくる」と締めくくっています。素晴らしい心に響く名文です。

南高は「部活動実績」、「進学実績」においても他校に決して劣らず、60 年というこの長い伝統を受け継いできました。他校と比べることが良いか悪いかはわかりませんが、弘前南高校は他校にはない本校独自の伝統があり、これからも本校独自のスタイル（「南高スタイル」）を築き上げ、継承していかなければなりません。環境も変わり期待と不安が入り混じった複雑な心境かもしれませんが、ここで出会った 200 名の生徒たちは、何かの縁が引き寄せたかけがえのない仲間であり、お互いがお互いを成長させる貴重な存在です。そして、様々な障害を皆で乗り越え、自己の成長につなげて欲しいと考えています。我ら1年次の結束を深めていくことが、何より希望進路達成と社会を力強く生き抜いていく力に結びついていくのではないでしょうか。

2 1年次スタッフの紹介

1年次主任		工藤恭一（体育・硬式野球）	副主任	小山花恵（英語・文芸）
11HR	担任	小山 花恵（英語・文芸）	副担任	佐藤 香織（国語・視聴覚）
12HR	担任	宮﨑 彩子（数学・茶道、弓道）	副担任	藤林 佑輔（社会・バレーボール）
13HR	担任	檜山 佳那子（理科・バドミントン）	副担任	工藤 英里（英語・インターアクト）
14HR	担任	佐藤 有代（国語・卓球）	副担任	太田 暁介（数学・バレーボール）
15HR	担任	岡部 晋也（理科・バスケ）	副担任	工藤 聡（英語・テニス）
年次付	竹浪 みゆき（保体・バスケットボール）		三上 淳司（社会・サッカー）	
	澤田 潤（数学・写真）		髙橋 真矢（美術・美術）	

服装・容儀について・7つの約束事

本校では「服装、容儀について」定めており、生徒要覧や教室に掲示されています。学生服や女子制服、夏季の制服について詳細が記載されています。今後は春から夏、秋と四季が変化していく中で、その季節その日の気温に応じ、自己の判断で冬用・夏用制服を着用することになります。また、本校の様々な決まり事として「7つの約束事」と題し、ルールが定められています。特に、スマートフォンの使用規定については、使用場所、使用時間、使用目的が詳細に定められていますが、これは、過去の生徒会が中心になり何度も議論を重ね策定したものであるということが画期的であると考えています。そして、生徒自らが定めたところに、生徒の主体性と自分たちが学校（校風）をつくるんだという決意が感じられます。1年次の皆さんも、歴史と伝統を引き継ぎながら、新たな南高スタイルを築き上げて欲しいと思います。

3 保護者の皆様へ

改めまして、ご入学おめでとうございます。式後のスピーチでは、まとまりのない内容だったかもしれませんが、生徒、保護者、教員が三位一体となって団結する重要性と熱意はご理解いただいたのではないかと考えております。

近年、コロナウイルス感染症や複雑な社会情勢の影響で、今までのような分け隔てのないコミュニケーションが成り立たず、多くの人が日々悶々とした歯がゆさを感じているのではないかと思います。本校に赴任して6年目になりますが、生徒の様子も少しずつ変化しています。例えば、LINEやメール、SNSで意思疎通をはかる上でのトラブルや意志に反して誤解が発生し、「いじめ」と認識されることもあり、人間関係の構築に苦慮している様子が見受けられます。その結果、人間関係に臆病になったり、面倒くさいと感じている生徒も多いのではと感じています。基本的にLINEなどのツールで自分の感情を相手に伝えることは不可能だとも、伝えたいことの半分しか伝わらないとも言われています。伝えたいことは相手に直接伝えることが大事であり、お互いが向き合って、お互いの感情を読み取りながらコミュニケーションをはかることが大切ではないでしょうか。高校生活のスタートにあたり、安心して新しい友人関係を築き上げていくためにも、ご家庭で話題にしていただけることをお願い申し上げます。

1 年次通信は弘前南高校 HP でも閲覧できます。
http://www.hirosakiminami-h.asn.ed.jp/